

一般社団法人日本鉱物科学会  
平成28年度第1回 定例理事会議事録

1. 招集通知年月日：平成28年(2016年)9月12日
2. 開催年月日及び時刻：平成28年(2016年)9月24日(土)  
16時35分から18時00分
3. 開催場所：金沢大学角間キャンパス自然科学本館  
1階レクチャーホール  
〒920-1192 石川県金沢市角間町
4. 理事総数および定数：総数 32名，定足数 17名
5. 出席理事数 29名

出席：土山 明，榎並正樹，大藤弘明，鍵 裕之，貴治康夫，  
佐藤 努，角替敏昭，永島真理子，濱本拓志，平島崇男，  
宮島 宏，森下知晃，阿部なつ江，井上 徹，小暮敏博，  
下林典正，高澤栄一，長瀬敏郎，中村美千彦，安東淳一，  
大和田正明，河上哲生，川本竜彦，鈴木正哉，永井隆哉，  
伴 雅雄，三河内岳，宮脇律郎，吉朝 朗  
欠席：上原誠一郎，黒澤正紀，土谷信高  
出席監事：：小山内康人

6. オブザーバー：(幹事会メンバー就任予定者)  
出席：会計幹事：栗林貴弘，JpGUプログラム委員：門馬綱一，  
事務局  
欠席：JpGUプログラム委員：齊藤哲，JpGU連絡委員：大谷栄治
7. 議事概要  
定足数17名を超える29名の理事が出席し，定款30条により理事会  
が成立したことを確認したのち，土山明会長が議長となり第1回理  
事会を開始した。

## 1. 報告事項

1. 理事，監事の選任報告と任意団体日本鉱物科学会解散決議など  
旧総会報告(土山明会長，代表理事)

土山会長から一般社団法人日本鉱物科学会理事，監事の選任報告  
と任意団体日本鉱物科学会解散決議など旧総会の報告があった。

- 1) 理事：  
土山 明 (会長)，榎並正樹 (副会長)  
大藤弘明，鍵 裕之，貴治康夫，佐藤 努，角替敏昭，  
永島真理子，濱本拓志，平島崇男，宮島 宏，森下知晃，  
阿部なつ江，井上 徹，上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，  
下林典正，高澤栄一，土谷信高，長瀬敏郎，中村美千彦，  
安東淳一，大和田正明，河上哲生，川本竜彦，鈴木正哉，  
永井隆哉，伴 雅雄，三河内岳，宮脇律郎，吉朝 朗
- 2) 監事：小山内康人
- 3) 一般社団法人設立と任意団体解散の報告  
平成28年8月中旬に設立社員2名，設立理事32名(先の選挙当選者  
12名と継続20人で，設立代表理事2名，設立平理事30名)と監事1  
名からの就任承諾書提出，8月26日に公証人による定款の認証後，  
平成28年9月1日にすべての書類が代理人の司法書士により東京  
法務局(仙台法務局管轄)に提出され登記が完了し，一般社団法人  
日本鉱物科学会が設立されたことが報告された。また，平成28  
年9月22日任意団体日本鉱物科学会第3回評議員会にて任意団体  
日本鉱物科学会解散の件が審議承認され，続いて平成28年9月24

日の任意団体日本鉱物科学会平成27年度総会にて審議の後平成  
28年9月28日をもって解散することが満場一致で承認されたこと  
が報告された。

2. 「日本の石」選定結果報告 (土山明国石選定WG委員長)

土山日本の石選定WG委員会から，以下の報告があった。  
日本鉱物科学会は社団法人化の記念事業の一環として進めてき  
た，日本の石すなわち「国石」の選定事業における会員による最終  
投票を行った。第1回目の投票結果は，ひすい48票，水晶35票，輝  
安鉱23票，自然金10票，花崗岩8票と，どれも過半数に達しなかつ  
た。投票前の申し合わせに従い，上位2候補について決選投票を行  
った結果，ひすい71票，水晶52票となり，有効得票数の過半数とな  
った「ひすい(ひすい輝石及びひすい輝石岩)」が国石として選定  
された。

3. 年会開催準備報告

- 1) 2017年年会(愛媛大学)開催状況報告(井上理事)  
井上理事から以下の報告があった。
  - ・日時：2017年9月12日(火)～14日(木)
  - ・場所：愛媛大学理学部講義棟・数学棟(一般講演・ポスター)  
愛媛大学南加記念ホール(総会・受賞記念講演会)
  - ・2017年年会運営委員会(LOC)：  
入船徹男(委員長)，井上 徹，土屋卓久，大藤弘明，西原 遊，  
土屋 旬，境 毅，大内智博，西 真之，新名 亨，森 寛志，  
齊藤 哲，榎原正幸，佐野 栄(以上予定)
  - ・日程：9月12日(火)午前 総会・受賞記念講演会  
(愛媛大学南加記念ホール)  
9月12日(火)午後から一般講演(愛媛大学理学部講義棟)  
懇親会は1日目の夕方，愛媛大学生協にて。
  - ・巡検：行わない。
  - ・シンポジウム：「地球深部関係」のシンポジウムを行いたい。  
同時期に「触媒学会」，「プロテイン・アイランド・松山 国際シ  
ンポジウム」が開催される。日本地質学会は，2017年9/15(金)日  
本地質学会主催一般公開講演会，愛媛大学2017年9/16(土)～18  
(月・祝)日本地質学会愛媛大学，19(火)～日本地質学会主催の巡検  
とのことで学会が集中
- 2) 2018年開催地(山形大学)の件状況報告(伴 理事)  
伴理事から以下の報告があった。

2018年の山形での年会開催に関して，平成28年6月2日にLOCの第  
1回目の会議を開催した。

  - ・開催日：平成30年9月19～21日を第一候補に考えているが，地質  
学会の日程がまだ決まっていないので連絡を取りながら調整し  
ていく。
  - ・会場：山形大学
  - ・2018年日本鉱物科学会年会運営委員会メンバー  
年会運営委員会委員長：中島和夫  
連絡調整担当(副委員長)：伴雅雄  
会場・案内担当：加々島慎一，物品調達担当：湯口貴史(2018年  
行事委員)，懇親会担当：大友幸子，加々島慎一，アルバイト担  
当：湯口貴史，中島和夫，会計担当：岩田尚能，伴雅雄，巡検担  
当：大友幸子，中島和夫，伴雅雄，生協担当：岩田尚能

4. その他

会長からWRI(Water-Rock Interaction)2019年国際会議について鉱  
物科学会を中心に日本で開催する旨の招致活動を承認したことが  
報告された。

## 11. 審議事項

### 第1号議案 新入会承認の件

佐藤務理事，会員幹事より入会者の申し込みがなかったことが報告された。

### 第2号議案 幹事，各委員会委員長，委員承認の件

土山会長から以下の(1)から(20)までの幹事，各委員会委員について紹介があり，承認された。なお，(13)から(19)の新規，継続委員は後日選出することで了承された。

#### (1) 幹事会メンバー

会長：土山 明，副会長：榎並正樹，庶務幹事：中村 美千彦  
会員幹事：佐藤 努，会計幹事：栗林貴弘，行事幹事：黒澤正紀  
和文誌編集幹事：長瀬敏郎，英文誌編集幹事：平島崇男，渉外幹事：川本竜彦，広報幹事：伴 雅雄，Elements幹事：片山郁夫  
特務幹事（細則等検討担当）：大和田正明，特務幹事（会員増対策担当）：吉朝 朗，三鈺連絡委員：中村美千彦，黒澤正紀，地球惑星科学連合2017年度学会選出プログラム委員：齊藤 哲（正）・門馬綱一（副），地惑連合連絡担当：大谷栄治

#### (2) 行事委員会

委員長：黒澤正紀 行事幹事 副委員長：角替敏昭，磯部博志  
委員：井上 徹（2017年LOC委員）鍵 裕之，片山郁夫，河上哲生，橘 省吾，寺崎英紀

#### (3) 岩石鉱物科学編集委員会

委員長：長瀬敏郎 和文誌編集幹事 副委員長：高澤栄一  
委員：阿部なつ江，荒川洋二，石渡 明，上原誠一郎，大藤弘明，加藤 工，掛川 武，木村純一，木村 眞，興野 純，久保友明，栗谷 豪，栗林貴弘，小暮敏博，近藤 忠，柴 正敏，下林典正，高須 晃，土谷信高，中井 泉，中村美千彦，永嶋真理子，西戸裕嗣，野口高明，長谷中利昭，濱田麻希，林謙一郎，林信太郎，伴 雅雄，坂野靖行，平島崇男，藤縄明彦，星出隆志，牧野州明，三宅 亮，宮島 宏，村田 守，門馬綱一，塚本尚義，吉朝 朗  
新委員：濱田麻希（金沢大），久保友明（九大），三宅 亮（京大），星出隆志（秋田大）

#### (4) JMPS編集委員会

委員長：平島崇男 英文誌編集幹事  
副委員長：吉朝 朗， M. Satish-Kumar  
委員：伴 雅雄，榎並正樹，藤本光一郎，林謙一郎，井上 徹，石渡 明，加藤文典，河野元治，木村純一，小木曾哲，興野 純，松枝大治，三河内岳，中村美千彦，小畑正明，大谷栄治，奥寺浩樹，大和田正明，佐藤 努，佐脇貴幸，篠田圭司，下林典正，杉山和正，角替敏昭，宇都宮聡， Jung Ho Ahn， Richard J. Arculus， D. Chandrasekharam， Ming Chen， Moonsup Cho， Alexander Khanchuk， Anhuai Lu， Joseph R. Smyth

#### (5) 渉外委員会

委員長：川本竜彦(岩石関係) 渉外幹事  
委員：栗谷豪(火山)，辻森 樹(地質)，井上 徹(高圧)，永嶋真理子(鉱物)，宇都宮聡(環境)

#### (6) 広報委員会

委員長：伴 雅雄 広報幹事  
委員：奥村 聡，亀井淳志，橘 省吾，門馬綱一，中村美千彦(庶務幹事)

#### (7) Elements 委員会

委員長：片山郁夫 Elements幹事 副委員長：興野 純  
学会役職指定委員：中村美千彦(庶務)，長瀬敏郎(GKK)，平島崇男(JMPS)，黒澤正紀(行事)，川本竜彦(渉外) 伴 雅雄(広報)

Society News Editor：片山郁夫

Executive Committee Member：土山 明(会長)

委員：宇都宮聡，森下知晃，鍵 裕之，井上 徹，寺崎英紀，橘 省吾，宮脇律郎，横山 正 (サイエンスボード)

#### (8) 新鉱物・命名・分類委員会

委員長：宮脇律郎  
委員：上原誠一郎，小林祥一，清水正明，坂野靖行，松原 聡，浜根大輔，門馬綱一

#### (9) 教育普及委員会

委員長：奥山康子  
委員：貴治康夫，林信太郎，宮島 敏，川手新一

#### (10) 博物館委員会

委員長：坂野靖行  
委員：宮脇律郎，宮島 宏，長瀬敏郎，森 康

#### (11) 日本鉱物科学会賞選考委員会

委員長：井上 徹 副委員長：高澤栄一  
委員：阿部なつ江，上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，下林典正，土谷信高，長瀬敏郎，中村美千彦，(会長)土山 明

#### (12) 櫻井賞選考委員会

委員長：松原 聡  
委員：中井 泉，清水正明，宮脇律郎，坂野靖行，宮島 宏

#### (13) 将来企画委員会 (委員10名)

委員長：榎並正樹(副会長) 副委員長：今後選出予定  
委員：今後選出予定  
オブザーバー：土山 明(会長)

#### (14) 細則等検討委員会(委員5名)

委員長：大和田正明 委員：今後選出予定  
オブザーバー：榎並正樹(副会長)

#### (15) 渡邊萬次郎賞選考委員会：

委員8名で，毎年その半数が交代し，再任は妨げない。  
委員長：宮脇律郎 副委員長：今後選出予定  
委員：(1期目選出委員4名)今後選出予定  
(2期目継続委員4名)  
大和田正明，高澤栄一，平島崇男，宮脇律郎(委員長)

#### (16) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会：

委員10名で，毎年その半数が交代し，再任は妨げない。  
委員長：角替敏昭 副委員長：今後選出予定

委員：(1期目選出委員5名) 今後選出予定  
(2期目継続委員5名)：  
鍵裕之，川本竜彦，森下知晃，吉朝朗，角替敏昭(委員長)

(17) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会：  
委員10名で，毎年その半数が交代し，再任は妨げない。  
委員長：安東淳一 副委員長：今後選出予定  
委員：(1期目選出委員5名) 今後選出予定  
(2期目継続委員5名)：  
大藤弘明，河上哲生，川本竜彦，永寫真理子，安東淳一(委員長)

(18) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会：  
委員10名で，毎年その半数が交代し，再任は妨げない。  
委員長：佐藤 努 副委員長：今後選出予定  
委員：(1期目選出委員5名) 今後選出予定  
(2期目継続委員5名)：  
土屋範芳，宮脇律郎，柳澤教雄，吉朝朗，佐藤努(委員長)

(19) 研究発表優秀賞選考委員会：委員長により指名  
委員長：奥村 聡 副委員長：今後選出予定  
委員：(1期目委員5名選出) 今後選出予定  
(2期目継続委員5名)：  
岡本敦，永寫真理子，中野伸彦，森下知晃，奥村聡(委員長)

(20) 2017年年会運営委員会

2017年年会運営委員会：入船徹男委員長，総括  
委員：井上 徹，土屋卓久，大藤弘明，西原 遊，土屋 旬，境 毅，  
大内智博，西 真之，森 寛志，齊藤 哲，榊原正幸，佐野 栄  
黒澤行事委員長，角替副行事委員長，磯部副委員長

第3号議案 平成28年度事業計画および収支予算書承認の件

1. 事業計画案について:土山会長より以下の説明があり承認された。
  - 1) 編集事業：岩石鉱物科学の発行，Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行
  - 2) 行事事業：2017年年会（愛媛大学）の開催 平成28年度第1回定時社員総会の開催
  - 3) 各賞の表彰事業
  - 4) その他
2. 平成28年度収支予算案について

土山会長から以下の説明があり，承認された。  
社員総会開催を9月中にしか開催できないことから社員総会開催までの諸手続き上，7月決算としたので，初年度だけ11か月で運営することとした。以下は総会までの手続き。  
7月末年度運営終了，決算  
8月決算計算書類作成，事業報告作成，監事の監査を受ける。  
理事会開催通知，社員総会開催日の2週間前以上には理事会開催して承認を受け，社員総会開催通知を出す。

第4号議案 運営細則等各規約検討作業の件

細則等検討委員会に諮問することとなり，委員会発足後，大和田特務幹事を中心に第2回理事会まで答申することが承認された。

第5号議案 2019年年会開催地の件

黒澤行事幹事から引き続き検討することが報告され，承認された。

平成28年度会計収支予算	
(平成28年9月1日～平成29年7月31日)	
収入の部	予算
会費収入	8,004,400
一般会員	5,000,000
学生会員	350,000
シニア会員	1,000,400
永年・名誉会員	24,000
購読会員	930,000
賛助会員	300,000
前年度分	400,000
出版物収入	2,000,000
雑収入	45,000
広告収入	160,000
年金収入	2,600,000
事業活動収入小計①	12,809,400
事業活動前年度繰越金	5,433,186
学会誌等刊行基金前年度繰越金	3,476,946
学会賞・奨励賞・論文賞基金前年度繰越金	1,620,503
渡邊萬次郎賞基金前年度繰越金	170,562
国際学会・年会基金，学会活動支援基金前年度繰越金	2,278,978
前年度繰越金小計②	12,980,175
収入合計①+②	25,789,575
支出の部	予算
事務費	4,515,000
消耗品費	5,000
通信費	120,000
人件費	4,090,000
旅費・交通費	150,000
物件費	70,000
委託費	180,000
租税公課	150,000
刊行費	4,300,000
会誌出版費	2,900,000
送料・その他	1,000,000
英文校閲費	400,000
集会費	2,750,000
年会開催費	2,600,000
会議費	150,000
連合団体会員年会費	10,000
雑費	500,000
予備費	30,000
Elements	1,700,000
事業活動支出小計③	13,805,000
学会誌等刊行基金	0
学会賞・奨励賞・論文賞基金	270,640
渡邊萬次郎賞基金	55,000
国際学会・年会基金，学会活動支援基金	106,160
基金支出小計④	431,800
支出合計③+④	14,236,800
次年度繰越金合計	11,552,775
支出合計	25,789,575

第6号議案 法人化記念事業の一環としての鉱物・岩石寄贈の件

伴広報幹事から以下のような修正案が提案され承認された。

「鉱物・岩石の試料の寄贈について」修正案

この度の一般社団法人化の記念事業の一環として，年会やJpGUでの展示利用など，日本の鉱物科学の発展につながる事業で活用させていただく鉱物・岩石の本学会への寄贈を募集します。

ご退職教員などで試料の廃棄をお考えの方は，鉱物科学の普及活動に使えそうな標本を提供いただけますと幸いです。ご提供可能な方は下記条件にて，日本鉱物科学会へ試料のご寄贈をお願いします。  
・一般人(特に中高生～大学の学部学生)の興味を引きそうな試料。  
・標本の永続的保存を目的としたものではありませんので，学術的に貴重な標本は除外願います。  
・立派な試料(結晶形が美しいなど)・一人数個まで。  
・最も長い部分が10cm程度まで。  
・一般向けに頒布しても良いもの(JpGUのブースなどでの頒布を考えています)(取り扱いに公の許可が必要な可能性のある試料や放射性鉱物はお断りします)。  
・学会への送料，返送費用は寄贈者のご負担にて

お願いいたします。・添付の譲渡承諾書もご提出下さい。

・提出方法

日本鉱物科学会学会事務局へお送りください。添付の譲渡承諾書のご提出を忘れないでお願いします。

・お断り

試料は学会にて「寄贈品として相応しいか」を確認させていただきます。相応しい試料でないと判断された場合は、着払いの宅配便で返送させていただきます。寄贈下さった方のお名前は学会ウェブなどで紹介させていただきます。

**第7号議案** IMA分科会の件

土山会長により状況の説明があり、継続して将来企画委員会に諮問することが承認された。

**第8号議案** 佐藤会員幹事より

- (1) 新法人定款第10条（会員資格の喪失）による平成28年度からの「会員資格喪失」対象者の対応について

平成28年8月31日時点で2年会費未納者17名についての平成28年度の対応について審議の結果、今回も関係各位に対応をしていただき今年いっぱい保留にすることで承認された。

但し、今後は定款「定款第10条（会員資格の喪失）第(3)項 第7条の年会費の支払義務を2年以上履行しなかったとき。」に従い「会員資格喪失」となる。また、会員会費規定第3条「権利」「第4項年会費の支払義務を2年以上履行しなかったときは、会員資格及び第1項の権利を喪失する。ただし、未履行の義務についてはこれを免れない。」も併せて該当することの説明があった

- (2) 継続審議の「外国人留学生学生正会員の帰国後のサポートに関するガイドライン」の件  
継続して検討することで承認された。

**その他**

以下の将来企画委員会継続議題を確認し、将来企画委員会発足後継続して諮問し、第2回理事会までに答申することが承認された。

- (1) 外部団体からの受賞候補者推薦(学振賞, 育志賞, 文部科学大臣表彰, IMAメダルなど)の推薦システムの検討
- (2) 研究発表優秀賞の表彰式の件  
あわせて年会クロージングセレモニーの実施などで次の開催年会への引継ぎを行う件。
- (3) 理事の人数の件  
適正な理事の人数を検討することとともに、幹事についても検討すること。
- (4) 年会アブストラクトの電子化について」見積もりをとること。

**8. 閉会**

以上の議事を終え、18時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

平成29年5月19日	会長	土山 明	印
	副会長	榎並正樹	印
	監事	小山内康人	印
		(捺印配布時省略)	